



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	10,138	11,337	12,387	0
事業費計		(千円)	10,138	11,337	12,387	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	2.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,133	2,123		
事業コスト		(千円)	12,271	13,460		

R01年度当初積算根拠	【13委託料】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月～9月           <ul style="list-style-type: none"> <li>敷布団 1,900円×1.08×705枚=1,446,660円</li> <li>掛布団 1,900円×1.08×680枚=1,395,360円</li> <li>毛布 490円×1.08×680枚=359,856円</li> </ul> </li> <li>・ 10月～3月           <ul style="list-style-type: none"> <li>敷布団 1,900円×1.1×700枚=1,463,000円</li> <li>掛布団 1,900円×1.1×663枚=1,385,670円</li> <li>毛布 490円×1.1×635枚=342,265円</li> </ul> </li> <li>・ 集配業務委託料 (シルバー人材センター) 5,993,500円</li> <li>・ 合計 12,387千円</li> </ul>

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8,882	4,821	5,873	0
事業費計		(千円)	8,882	4,821	5,873	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	215.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	711	1,240		
事業コスト		(千円)	9,593	6,061		

R01年度当初積算根拠	<p>【20扶助費】計 2,623千円 H25～29の実績額をもとに近似曲線を用いてH31見込額を算出。 算出式：y = 239,765x + 944,403 (y=実績 x=年度) 239,765 × 7 + 944,403 = 2,622,758円</p> <p>■総務（事業に属さないもの）計 3,250千円 【08報償費】128千円 【09旅費】23千円 【11需用費】消耗品費：54千円 印刷製本費：596千円 【12役務費】964千円 【13委託料】高齢者台帳管理システム保守管理委託：1,112千円 助成券印刷封入封かん委託：373千円 合計 5,873千円</p>
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	693	1,600	0
事業費計		(千円)	0	693	1,600	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	8.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,843	2,843		
事業コスト		(千円)	2,843	3,536		

R01年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】
	運営を維持するための経費 福祉有償運送の年間の延利用に応じた額 (上限額30万円) × 4事業者 = 1,200,000円 運行の安全及び利便を確保するための経費 講習及び研修並びにボランティア保険料等に係る経費 (上限額10万円) × 4事業者 = 400,000円 計 1,600千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目		平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	県支出金	(千円) 0	0	0	0
	地方債	(千円) 0	0	0	0
	その他	(千円) 223	119	109	0
	一般財源	(千円) 6,044	5,765	7,731	0
事業費計		(千円) 6,267	5,884	7,840	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人) 0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間) 0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無) 無	無		
人件費		(千円) 1,422	1,412		
事業コスト		(千円) 7,689	7,296		

R01年度当初積算根拠	【08報償費】 24千円
	【11需要費】 3千円
	【12役務費】 2千円
	【20扶助費】
	老人ホーム入所措置費 7,619千円
	居宅サービス措置費 192千円
	計 7,840千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	278 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-13 ひとり暮らし老人福祉に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
急病、災害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、高齢者等の不安を解消するとともに生活の安全を確保する。					ひとり暮らしの高齢者等にペンダント型無線発信機等を貸与する。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上で病弱または重度の身体障害のあるひとり暮らしの方、75歳以上のひとり暮らしの方に対し、緊急通報機器を貸与し、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。</li> <li>申請受付：随時 受付後、訪問調査</li> <li>毎月 お伺い電話による安否確認、状況把握</li> <li>6月 利用者負担額決定通知送付</li> <li>9月・3月 負担額徴収</li> <li>アンケート結果をもとに事業内容について検討する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数：193名（3月末時点）</li> <li>新規設置：30件</li> <li>3月末までで36件の通報があり、救急車による搬送等の対応ができた。</li> <li>広報等での事業周知や民生委員等への周知を行った。</li> <li>民生委員に対して行ったアンケートの集計を行い、要望等の把握をした。</li> </ul>					
成果					課題					
緊急通報システムの通報、お伺い電話等により、救急搬送だけでなく、入院・入所等も把握でき、ひとり暮らし高齢者の不安解消、生活の安全の確保に寄与できた。					引き続き、事業周知を行っていくこととともにアンケート結果を参考に利用条件等の見直し、機器の回収が困難になる場合の対応方法等について検討を重ねていく。					
改善目標（R01年度にむけて）										
対象者や利用条件等についての検討を行うとともに、事業周知を行う。										
指標の推移										
1	指標名	緊急通報システム設置台数					( 台 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	310.0	280.0	285.0	290.0	290.0	290.0	290.0		
	実績	241.0	228.0	213.0	201.0	193.0	0.0	0.0		
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	263	265	302	0
	一般財源	(千円)	6,362	6,241	7,629	0
事業費計		(千円)	6,625	6,506	7,931	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	18.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,554	3,574		
事業コスト		(千円)	10,179	10,080		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>12役務費 (電話料) 福祉電話基本料 (4月～9月) 1,740円×1台×6月=10,440円 (10月～3月) 1,773円×1台×6月=10,638円 (口座振替手数料) 15円×40人×2回=1,200円 計 24千円</li> <li>13委託料 (既存分) 2,600円×6月×210台×1.08=3,538,080円 2,600円×6月×210台×1.1=3,603,600円 (新規設置予定分) 2,600円×6月×30台×1.08×0.75=379,080円 2,600円×6月×30台×1.1×0.75=386,100円 ※2,600円の内訳(緊急通報対応1,700円、装置等代900円)計 7,907千円</li> <li>合計 7,931千円</li> </ul>

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	280	253	317	0
事業費計		(千円)	280	253	317	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	2.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	711		
事業コスト		(千円)	991	964		

R01年度当初積算根拠	【20扶助費】
	40円×52週×(週3回×15人+週2回×15人+週1回×7人) =170,560円 (ヤクルト)
	117円×52週×(週3回×6人+週2回×2人+週1回×2人) =146,016円 (ヤクルト以外)
	170,560円+146,016円=316,576円 計 317千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	13,508	13,800	16,203	0
事業費計		(千円)	13,508	13,800	16,203	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	45.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,133	2,230		
事業コスト		(千円)	15,641	16,030		

R01年度当初積算根拠	【13委託料】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひさまサンサン生き生きまつり 4,056千円</li> <li>・シルバークラブ大会 2,139千円</li> <li>・シルバークラブ育成支援 10,008千円</li> <li>・計 16,203千円</li> </ul>

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,150	11,150	11,150	0
事業費計		(千円)	11,150	11,150	11,150	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	706		
事業コスト		(千円)	11,861	11,856		

R01年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】 (負担金) 茨城県シルバー人材センター連合会負担金 10,000円×10口=100,000円 全国シルバー人材センター協会負担金 10,000円×5口=50,000円 (補助金) 高年齢者労働能力活用事業補助金 11,000,000円 計 11,150千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,975	4,989	5,062	0
事業費計		(千円)	4,975	4,989	5,062	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	5.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	719		
事業コスト		(千円)	5,686	5,708		

R01 年度 当初 積算 根拠	【13委託料】	
	人件費 3,518千円 印刷製本費 6千円 通信運搬費 70千円 通常サロン・出前サロン講師料 1,279千円 消耗品費 90千円 車両燃料費 4千円 修繕費 85千円 出前サロン講師及び参加者傷害保険料 10千円 計 5,062千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,453	1,462	1,585	0
事業費計		(千円)	1,453	1,462	1,585	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	4.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	716		
事業コスト		(千円)	2,164	2,178		

R01 年度 当初 積算 根拠	【13委託料】					
	人件費 723千円					
	食料費 55千円					
	消耗品費 213千円					
	参加者傷害保険料 21千円					
	賃借料 303千円					
	車輛燃料費 17千円					
	通知等発送郵便料 41千円					
	会議費 5千円					
	賞状筆手数料 10千円					
全国大会出場助成費 138千円						
租税公課費 59千円						
計 1,585千円						

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,453	1,462	1,585	0
事業費計		(千円)	1,453	1,462	1,585	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	4.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	716		
事業コスト		(千円)	2,164	2,178		

R01年度当初積算根拠	【13委託料】					
	人件費 723千円					
	食料費 55千円					
	消耗品費 213千円					
	参加者傷害保険料 21千円					
	賃借料 303千円					
	車輛燃料費 17千円					
	通知等発送郵便料 41千円					
	会議費 5千円					
	賞状筆手数料 10千円					
全国大会出場助成費 138千円						
租税公課費 59千円						
計 1,585千円						

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	284 敬老祝金給付事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-15 敬老事業に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間	平成17年度～		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	つくば市敬老祝金給付条例、つくば市敬老祝金給付条例施行規則			事業体制	一部委託				
				市長公約					
概要									
事業の目的				事業の概要					
長寿を祝福し敬老の意を表するとともに、福祉の増進に寄与する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>一般敬老祝金 年度内75歳以上になる方へ簡易書留で商品券を贈呈する。</li> <li>特別敬老祝金 年度内88歳及び101歳以上の方へ簡易書留で商品券を郵送する。 年度内100歳になる方へ、老人週間の前後2週間以内に保健福祉部職員が自宅を訪問し、敬老祝金（現金）を贈呈する。</li> </ul>					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 75歳以上(3,000円)、約21,500人</li> <li>特別敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。 88歳(10,000円)、約780人 101歳以上(20,000円)、約95人 9月に対象者宅を訪問し、祝金（現金）を贈呈する。 100歳(30,000円)、約40人</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>一般敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈した。 75歳以上(3,000円) 20,688人</li> <li>特別敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈した。 88歳(10,000円) 702人、101歳以上(20,000円) 61人 9月に対象者宅を訪問し、祝金（現金）を贈呈した。 100歳(30,000円) 33人 商品券の使用率：95.05%</li> </ul>					
成果				課題					
高齢者の方々が買い物へ出かけるきっかけづくりとなり、地域との交流が図られるとともに、地域の商店などの活性化に貢献できた。				対象者が年々増加しているため、事業のあり方の検討が必要である。					
改善目標（R01年度にむけて）									
高齢化に伴い、対象者が年々増加しているため、事業のあり方の検討が必要である。									
指標の推移									
1	指標名	敬老祝金給付数					( 人 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	19,145.0	19,754.0	20,551.0	20,432.0	21,484.0	0.0	0.0	
	指標の概要	1年以上つくば市に居住している75歳以上、88歳、100歳、101歳以上の対象者への給付数							
2	指標名						( )		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	74,052	77,786	84,148	0
事業費計		(千円)	74,052	77,786	84,148	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	11.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,554	3,557		
事業コスト		(千円)	77,606	81,343		

R01年度当初積算根拠	【11需要費】 消耗品費28千円、印刷製本費3,342千円 計3,370千円					
	【12役務費】 郵便料9,040千円					
	【13委託料】 商品券事務取扱委託料385千円					
	【20扶助費】 敬老祝金71,353千円					
	合計 84,148千円					

予算の方向性	理由	対象者数の増加による。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	15,830	17,874	20,541	0
事業費計		(千円)	15,830	17,874	20,541	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.80	0.80		
		時間外勤務 (時間)	1,200.00	1,429.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	8,714	9,193		
事業コスト		(千円)	24,544	27,067		

R01年度当初積算根拠	【08報償費】	謝礼132千円
	【11需要費】	消耗品費392千円、食糧費5,384千円 印刷製本費1,139千円 計6,915千円
	【12役務費】	郵便料1,856千円、携帯電話料33千円 手数料1,691千円 計3,580千円
	【13委託料】	660千円
	【14賃借料】	使用料213千円、バス賃借料8,235千円 無線機賃借93千円、座布団賃借713千円 計9,254千円
合計		20,541千円

予算の方向性	理由	参加人数が増加しているため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	286 長寿をたたえる事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030102-15 敬老事業に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令				事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
高齢者の長寿をたたえ、高齢者を敬愛する意識の啓発を図るため。				<ul style="list-style-type: none"> <li>8月1日現在つくば市に住所を有し100歳の誕生日を年度内に迎える方に対し、老人週間の前後2週間以内に職員が自宅を訪問して、ほう状などを贈呈する。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>9月に対象者約40人を直接訪問し、ほう状及び記念品を贈呈する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>9月に対象者33人を直接訪問し、ほう状及び記念品を贈呈した。</li> </ul>				
成果				課題				
長寿を祝福し、敬老の意を表し、高齢者の生きがいがづくりに貢献できた。								
改善目標（R01年度にむけて）								
指標の推移								
1	指標名	年度内に100歳の誕生日を迎える対象者人数					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	857.0	34.0	33.0	30.0	33.0	0.0	0.0
	指標の概要	H26年度までは88歳が対象 ※101歳以上も対象						
2	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	256	290	505	0
事業費計		(千円)	256	290	505	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	3.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,133	2,126		
事業コスト		(千円)	2,389	2,416		

R01年度当初積算根拠	【08報償費】	長寿をたたえる事業記念品 383千円
	【11需用費】	消耗品費20千円、印刷製本費32千円 計52千円
	【12役務費】	郵便料11千円
	【13委託料】	褒状筆耕委託料59千円
		合計 505千円

予算の方向性	理由	対象者数の増加による。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,429	6,605	9,000	0
事業費計		(千円)	6,429	6,605	9,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	8.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,133	2,843		
事業コスト		(千円)	8,562	9,448		

R01 年度当初 積算根拠	【20扶助費】	
	一人当たり交付総額 (500円×18枚) × 見込交付者数 × 見込利用率 9,000円×2,000人×0.5=9,000,000円 計 9,000千円	

予算の方向性	理由	一人当たりの助成額を増額したため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	905	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,147	1,492	2,574	0
事業費計		(千円)	2,147	2,397	2,574	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	711	706		
事業コスト		(千円)	2,858	3,103		

R01年度当初積算根拠	【20扶助費】
	H30の実績見込は当初予算のとおり。 H31 (見込) = H30実績見込 × 伸び率 = 2,666,000円 × 0.97 = 2,573,290円 計 2,574千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	289 ねたきり高齢者理美容料助成事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-030102-16 老人援護に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画	高齢者福祉計画							
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>ねたきりの高齢者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上で要介護4、5認定者または常時ねたきりで理美容所に行くことが困難な在宅の方が、出張理美容を受ける際の利用料金助成を行う。</li> <li>年間助成券（4,000円×2枚）を交付し、助成券は市の協力理美容所で使用する。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上の要介護4、5認定者またはねたきり状態の方を対象に、家で理美容を受ける際の費用の一部を助成する。</li> <li>助成額：4,000円券×2枚</li> <li>申請受付：随時</li> <li>協力店受付：随時 (12月に現年度協力店へ協力申出書を送付する。)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>助成券交付者数：154名</li> <li>65歳以上で要介護4、5認定者またはねたきり状態の方を対象として、家で理美容を受ける際の費用の一部を助成（4,000円×2枚）</li> <li>市報・市のHP・民生委員の会議等で事業周知を行った。</li> </ul>				
成果				課題				
<p>ねたきりの高齢者に対して、居宅における理美容料金の一部を助成することにより、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。</p>				<p>交付者に比べて利用率が低い。</p>				
改善目標（R01年度にむけて）								
事業周知を効果的に行う必要がある。								
指標の推移								
1	指標名	助成券交付者数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	150.0	160.0	160.0	160.0	165.0	170.0	175.0
	実績	141.0	150.0	152.0	151.0	154.0	0.0	0.0
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。						
2	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	568	580	651	0
事業費計		(千円)	568	580	651	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	711	706		
事業コスト		(千円)	1,279	1,286		

R01年度当初積算根拠	【20扶助費】
	H30の実績見込は当初予算のとおり。 H31 (見込) = H30実績見込 × 伸び率 = 576,000円 × 1.13 = 650,880円 計 651千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	2,508	2,371	2,482	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	8,571	8,571	9,425	0
事業費計		(千円)	11,079	10,942	11,907	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	0.00	25.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,843	2,885		
事業コスト		(千円)	13,922	13,827		

R01年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>負担金 県老人クラブ連合会負担金 人口割 0.274円×人口 232,461人+平等割 3,400円 計 67千円</li> <li>補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市シルバークラブ連合会補助金 計 3,000千円</li> <li>つくば市単位シルバークラブ補助金 計 8,840千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>90人以上 97,200円×3団体</li> <li>70人以上90人未満 81,200円×14団体</li> <li>50人以上70人未満 65,200円×59団体</li> <li>30人以上50人未満 57,600円×59団体</li> <li>30人未満 33,200円×5団体</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	合計 11,907千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,097	1,020	1,089	0
事業費計		(千円)	1,097	1,020	1,089	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	3.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	714		
事業コスト		(千円)	1,808	1,734		

R01年度当初積算根拠	【11需要費】
	消耗品費 10千円、電気料 79千円 施設修繕料 50千円
	【役務費】
	浄化槽手数料8千円、火災保険料 5千円
	【委託料】
	浄化槽維持管理委託料 55千円 ふれあい元気広場維持管理委託料 (芝刈り・除草・施肥・薬剤散布・生垣手入れ・樹木剪定) 882千円 計 1,089千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	292 宅配食事サービス事業								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 在宅福祉係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030102-19 食事サービスに要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成 7年度～						
個別計画	高齢者福祉計画								
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
ひとり暮らしの方や高齢者世帯の安否確認及び健康保持等を図る。				<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり暮らし・高齢者世帯の方に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配食する。配食の際、利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は、市職員が緊急連絡先に連絡・対応する。</li> </ul>					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の方に、高齢者向け配食サービス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配達する。</li> <li>配達時に事前の連絡がなく不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行う。</li> <li>申請受付：随時 受付後、訪問調査</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用申込者数：70名 利用者数：119名 安否確認件数82件</li> <li>65歳以上のひとり暮らしの方及び高齢者世帯に希望の曜日に夕食を配達した。配達時に不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行った。</li> <li>新規利用申込者に対して訪問調査を実施し、健康状況や緊急連絡先等を確認して実態を把握し、対象者に該当するか審査した。</li> <li>市報・市のHP・民生委員の会議等で事業周知を行った。</li> </ul>					
成果				課題					
買い物や調理が困難な65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯の方の安否を確認し、健康保持に寄与することができた。				安否確認事業であることを理解していただくために、必ず手渡して受け取っていただくよう申請時や調査時に繰り返し説明する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）									
利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は市職員が緊急連絡先に連絡し対応するため、名簿を最新の情報に更新していく。									
指標の推移									
1	指標名	宅配食事サービス事業					( 人 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	200.0	280.0	290.0	300.0	150.0	160.0	170.0	
	実績	207.0	124.0	140.0	134.0	119.0	0.0	0.0	
	指標の概要	H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。							
2	指標名	安否確認件数					( 件 )		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	58.0	82.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,984	6,796	7,783	0
事業費計		(千円)	6,984	6,796	7,783	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	29.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,133	2,190		
事業コスト		(千円)	9,117	8,986		

R01年度当初積算根拠

【13委託料】 H28～H30上半期配食数実績から平均を算出。  
(12,198食+12,921食+11,192食) / 3 = 12,104食 (小数点以下切上)  
※利用者割合から1食あたりの市負担額平均を算出 (消費税8%)。  
市負担額: 一般世帯302円、生活保護世帯402円 302円×0.87+402円×0.13=315円  
H28～H30上半期配食数実績の平均と1食あたりの市負担額平均からH31上半期見込額を算出。  
12,104食×315円=3,812,760円  
※利用者割合から1食あたりの市負担額平均を算出 (消費税10%)。  
市負担額: 一般世帯315円、生活保護世帯415円 315円×0.87+415円×0.13=328円  
H28～H30上半期配食数実績の平均と1食あたりの市負担額平均からH31下半期見込額を算出。  
12,104食×328円=3,970,112円  
H31上半期見込額とH31下半期見込額からH31見込額を算出。 計 7,783千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	293 つくば市高齢者福祉計画事業							
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定+任意		
予算科目	01-030102-25 高齢者福祉計画の策定に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	平成28年度～平成30年度			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画	老人福祉計画、介護保険事業計画、高齢者居住安定確保計画					<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令	老人福祉法、介護保険法、高齢者の居住の安定確保に関する法律				事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
計画を策定し、高齢者福祉施策の推進を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。</li> </ul>			
評価								
事業計画					活動実績			
2月 第10回高齢者福祉推進会議開催					4月 第7期計画書を製本、配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>第8期高齢者福祉計画のアンケート内容を福祉関係部署で策定するつくば市地域福祉計画、つくば市自殺対策計画、つくば市在宅医療・介護連携推進事業意識調査業務などにも活用できるよう協議を行った。</li> </ul>			
成果					課題			
製本された第7期計画書を関係者や県、他市町村に配布することで、計画の周知ができた。 第8期高齢者福祉計画のアンケート案を作成した。					計画の内容が複数の部署にまたがるため、関係部署と連携することが難しい。			
改善目標（R01年度にむけて）								
第7期での問題点を洗い出し、進捗評価を行い第8期計画での部署間の連携につなげていく。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,736	1,231	5,853	0
事業費計		(千円)	3,736	1,231	5,853	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.70	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	12,082	1,412		
事業コスト		(千円)	15,818	2,643		

R01年度当初積算根拠	【08報償金】 高齢者福祉推進会議委員謝礼 8,000円×17人×3回=408,000円 計 408千円
	【09普通旅費】 研修会普通旅費 2,300円×3名×7日=48,300円 計 49千円
	【11需用費】 推進会議時飲み物代 140円×17名×3回=7,140円 計 8千円
	【13委託料】 高齢者福祉計画策定支援業務委託料(継続費) 平成31年度分 4,897,935円×消費税1.1=5,387,728円 計 5,388千円
	合計 5,853千円

予算の方向性	理由	次期計画作成のコンサルタント業務委託業者と契約等を行うにあたり、新規に予算を計上する。
新規		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	294 地域密着型サービス整備費等補助事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-26 老人福祉施設整備に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分	事業期間									
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約	29				
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくば市高齢者福祉計画に基づき介護施設を整備し、高齢者福祉の向上を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市高齢者福祉計画の推進にあたり、公募による事業者選定を行う。</li> <li>地域密着型サービス拠点整備を促進するため、県の施設整備補助金を活用する。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域でサービスの利用及び提供が完結できるように、地域密着型サービス拠点施設（事業所）整備するため事業者の公募を行う。</li> <li>公募要項をH30年5月に公表、申込受付を8月から開始する。</li> </ul>					5月 介護保健サービス事業者公募要項HP公表 8月 応募申込受付 10月～12月 選定委員会（3回実施） 12月 選定結果通知					
成果					課題					
サービスごとに、選定すべき事業者を決定することができた。					選定した事業者がR2年4月から開所できるように進捗状況を把握していくことが必要である。					
改善目標（R01年度にむけて）										
R2年4月から開所できるよう、令和2年2月中に工事を完了させるよう、定期的に状況確認をしていく。										
指標の推移										
1	指標名	地域密着型介護老人福祉施設の定員数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	87.0	116.0	116.0	145.0	145.0	145.0	203.0		
	実績	87.0	116.0	116.0	145.0	145.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	10,051	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	294,060	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	112	0	0
事業費計		(千円)	10,051	112	294,060	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	55.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	10,661	2,255		
事業コスト		(千円)	20,712	2,367		

R01年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備費 4,270,000円×29床×2施設=247,660千円</li> <li>・開設準備経費 800,000円×29床×2施設=46,400千円</li> </ul> <p>計 294,060千円</p>					

予算の方向性	理由	県施設整備補助金を活用して事業者に補助金を交付し、施設整備を支援するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	30	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,962	190	402	0
事業費計		(千円)	1,992	190	402	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	3.70		
		時間外勤務 (時間)	0.00	470.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	10,661	27,278		
事業コスト		(千円)	12,653	27,468		

R01年度当初積算根拠	【08報償費】	
	・地域密着型サービス運営委員会委員謝礼 320千円	
	【11需用費】	
	・事務用消耗品 34千円	
	・図書 42千円	
	・食糧費 委員お茶代 6千円	
	計 402千円	

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	264	264	489	0
事業費計		(千円)	264	264	489	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	706		
事業コスト		(千円)	975	970		

R01年度当初積算根拠	【11需用費】	
	高齢者健康遊具修繕料	200千円
	【13委託料】	
	高齢者健康遊具点検委託料	289千円
	計	489千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	16,237	17,260	17,719	0
	県支出金	(千円)	8,118	8,630	8,859	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	8,118	8,630	8,859	0
	一般財源	(千円)	9,702	10,311	10,586	0
事業費計		(千円)	42,175	44,831	46,023	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	1,422	1,412		
事業コスト		(千円)	43,597	46,243		

R01年度当初積算根拠	【20扶助費】 H25～H29の実績とH30の見込を元に近似曲線を用いて推計 算出式： $y=1,664,325x+34,371,767$ ( $y$ =実績、 $x$ =年度。便宜上、 $H25=1$ 、 $H26=2$ 、… $H31=7$ とする) $1,664,325 \times 7 + 34,371,767 = 46,022,042$  計 46,023千円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	299 ICT高齢者いきいき健康アップ事業									
戦略プラン	I	1	1	高齢者支援体制の整備	担当部課	保健福祉部高齢福祉課				
総合戦略					係名	在宅福祉係				
					新規・継続	継続				
予算科目	08-030201-11 ICT高齢者いきいき健康アップ事業				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	高齢者福祉計画					事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約	31				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>活動量計を身につけて、日常自分が歩いている量やエネルギーの消費量を確認し運動習慣を身につけてもらい、高齢者の健康増進を図る。</p>					<p>・参加者自身が日常的に健康データ（歩数等）を市内8か所に設置してあるタブレットから送信し、そのデータを健康管理システムで管理し健康データの「見える化」に取り組み行動変容を促進する。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
4～5月、8月～9月 新規参加者募集 6月、10月 新規参加者事業説明会及び体力測定 2月 全参加者を対象とした体力測定の実施 4月、6月、8月、10月、12月、2月 月間の運動結果送付					4～5月、8月 新規参加者募集 6月、10月 新規参加者事業説明会及び体力測定 2月 全参加者を対象とした体力測定の実施 4月、6月、8月、10月、12月、2月 月間の運動結果送付 ・新規参加者募集のため、広報紙及びホームページで事業の周知を行った。 ・51名の新規参加者があった。 ・活動量計の不具合等については、委託業者と連携して対応した。					
成果					課題					
<p>歩数等の運動結果をフィードバックすることで、参加者の運動に対する意識を向上させることができた。</p>					<p>市内8か所に設置してあるタブレットに歩数データを送信しに行くことができない、水没による活動量計の故障のためなど、退会者も多いため、継続して参加できる環境づくりが必要である。</p>					
改善目標（R01年度にむけて）										
<p>病気予防や健康づくりに効果的な運動量について指標を示し、事業説明会時などに参加者へ周知していく。また、参加者に郵送する結果表により、自身の運動結果がどういった病気の予防となるのかフィードバックしていく。引き続き、活動量計の不具合などについては、委託業者と連携して対応していく。</p>										
指標の推移										
1	指標名	参加者数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	335.0	400.0	500.0	500.0	435.0	470.0	500.0		
	実績	323.0	354.0	363.0	404.0	413.0	0.0	0.0		
	指標の概要	年度末現在の参加人数を指標とする。 H30年度以降の目標値は、つくば市高齢者福祉計画（第7期）のとおりとする。								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,377	1,230	1,457	0
	県支出金	(千円)	688	684	821	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	2,230	2,321	2,696	0
	一般財源	(千円)	1,213	1,398	1,699	0
事業費計		(千円)	5,508	5,633	6,673	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	4.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,843	3,539		
事業コスト		(千円)	8,351	9,172		

R01年度当初積算根拠	【08報償費】 指導員謝礼108千円
	【11需用費】 事務用消耗品30千円、参加記念品111千円 計141千円
	【12役務費】 郵便料 135千円
	【13委託料】 ICT高齢者いきいき健康アップ事業委託料 6,289千円
	合計 6,673千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	300 つくば市高齢者地域ふれあいサロン活動支援事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	新規				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	08-030201-17 高齢者地域ふれあいサロンに要する経				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間	平成30年度～			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令					事業体制	補助金（直接）				
					市長公約	30				
概要										
事業の目的					事業の概要					
介護予防・日常生活介護支援総合事業により、体操、運動等の活動など自主的な通いの場提供のための支援を行う。					<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施主体に、運営費の補助を行う。</li> <li>初回は桜ニュータウンにおいてモデル事業として行い、翌年度からは状況を見ながら事業の拡大を図る。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
4月 補助金交付申請書提出 4月 補助金交付決定 3月 実績報告書提出 3月 次年度の要項作成 4月 補助金の確定及び支払					<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン団体数1件 団体が活動を行う中で困っている事など相談しながら進めることができた。</li> <li>4月 補助金申請受付、補助金交付決定</li> <li>6月 活動準備費の支払</li> <li>3月 実績報告書提出</li> <li>3月 次年度の要綱作成</li> <li>3月 次年度に補助金について説明</li> <li>3月 補助金の確定</li> <li>4月 支払い</li> </ul>					
成果					課題					
補助金を交付することにより、自主的な通いの場を提供するための支援ができた。					補助金を交付できる要件等事業周知を行っていく必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
より効果的な事業周知の方法を検討し、実行していく。										
指標の推移										
1	指標名	活動団体数					( 団体 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	7.0	10.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	134	509	0
	県支出金	(千円)	0	75	287	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	237	908	0
	一般財源	(千円)	0	154	596	0
事業費計		(千円)	0	600	2,300	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	1,462		
事業コスト		(千円)	0	2,062		

R01 年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】					
	活動開始準備費					
	50,000円×2団体=100,000円					
	150,000円×2団体=300,000円					
	300,000円×2団体=600,000円					
	活動費補助					
	50,000円×2団体=100,000円					
150,000円×2団体=300,000円						
300,000円×3団体=900,000円						
計 2,300千円						

予算の方向性	理由	内容の見直しを行い、実施団体を増やす。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	410	1,517	2,000	0
事業費計		(千円)	410	1,517	2,000	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.20		
		時間外勤務 (時間)	12.45	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,165	1,462		
事業コスト		(千円)	2,575	2,979		

R01年度当初積算根拠	【19負担金補助及び交付金】
	介護職員就労スタートアップフォロー事業 (50,000×17名) + (30,000円×5名) =1,000,000円 介護職員キャリアアップ費用助成事業 50,000円×20名=1,000,000円 計 2,000千円

予算の方向性	理由	実績により予算計上したため
縮小		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	302 生活支援サポーター養成研修事業									
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課 計画・施設係				
総合戦略					新規・継続	新規				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-030102-28 介護人材確保に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間	平成30年度～							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画									
根拠法令					事業体制	全て委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービス（基準緩和型）事業所の人材確保					<ul style="list-style-type: none"> <li>外部事業者に委託して市の独自研修（旧ヘルパー3級）を年2回実施する。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
5月 市独自研修要綱制定 8月・12月 広報紙掲載（募集） 9月・2月 市独自研修実施					9月研修修了者 15名、2月研修修了者 8名  5月 市独自研修要綱制定 8月・12月 広報紙掲載（募集） 9月・2月 市独自研修実施					
成果					課題					
市独自研修を実施し、必要な知識・技能を習得した生活支援サポーターを養成することができた。					20名定員であるが、申込者が少ないこと。					
改善目標（R01年度にむけて）										
申込者が少ないので、引き続き広報紙や窓口での案内を通して事業周知を行う。										
指標の推移										
1	指標名	研修回数					( 回 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	研修修了者数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	40.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	0.0	0.0		
	指標の概要									

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	507	767	0
事業費計		(千円)	0	507	767	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	1,462		
事業コスト		(千円)	0	1,969		

R01年度当初積算根拠	【13委託料】	
	講師料	64,500円×2人=129,000円
	施設研修実習費	1,000円×20名×4回=80,000円
	教材費	1,300円×10冊×1.08=14,040円
	調理実習材料費	1,000円×23名×2回=46,000円
	人件費	383,000円
	保険料	12,320円
	消耗品	17,510円
	コピー代	1,500円
	切手代	16,400円
振込手数料	12,208円	
租税公課	55,022円	
		計 767千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	981	934	832	0
	一般財源	(千円)	17,058	17,818	22,782	0
事業費計		(千円)	18,039	18,752	23,614	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,107	7,057		
事業コスト		(千円)	25,146	25,809		

R01年度当初積算根拠	【11需用費】	消耗品費 燃料費 食糧費 光熱水費 修繕料 12,689千円				
	【12役務費】	通信運搬費 手数料 保険料 470千円				
	【13委託料】	施設管理委託料 7,606千円				
	【14使用料及び賃借料】	土地賃借料 複写機賃借料 通信カラオケ機器賃借料 AED賃借料 702千円				
	【15工事請負費】	修繕工事 2,147千円 合計 23,614千円				

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	26,000	0	0	0
	その他	(千円)	1,418	1,221	1,357	0
	一般財源	(千円)	46,369	33,013	33,753	0
事業費計		(千円)	73,787	34,234	35,110	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	20.00	29.50		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	14,265	14,188		
事業コスト		(千円)	88,052	48,422		

R01年度当初積算根拠	[既存事業] 計：34,628千円					
	【11需用費】 消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料等：16,907千円					
	【12役務費】 通信運搬費・手数料・保険料：679千円					
	【13委託料】 施設管理委託料：16,317千円					
	【14使用料及び賃借料】 (複写機・カラオケ機器・AED)：695千円					
	【18備品購入費】 (掃除機)：30千円					
	[新規事業] 計：482千円					
【11需用費】 (施設修繕料)						
2階貸部屋 (三部屋) 電灯LED化修繕：179千円						
浴場横機械室自給ポンプ交換：195千円						
屋外機械室柱修理：108千円						
合計 35,110千円						

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3
市民ニーズと今後の見込み	今後とも一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4
事業が計画的に進んでいるか	計画通りに進めることができた。
市の関与	2
行政が関与する必要性について	今後とも市が実施するほうがよい。
優先度	2
事業の優先度はどうか	継続して実施する必要がある。



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	335	301	324	0
	一般財源	(千円)	4,016	5,780	11,388	0
事業費計		(千円)	4,351	6,081	11,712	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	4,265	4,235		
事業コスト		(千円)	8,616	10,316		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11需用費 1,224千円</li> <li>・12役務費 186千円</li> <li>・13委託料 7,621千円</li> <li>・14使用料及び賃借料 680千円</li> <li>・15工事請負費 1,930千円</li> <li>・18備品購入費 71千円</li> </ul>
	合計 11,712千円

予算の方向性	理由	老朽化施設の現状使用に係る空調機器の更新、設備の修繕及び前年度の建築物危険判定調査に基づく建築物耐震診断業務委託の実施が必要である。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	306 荃崎老人福祉センター-管理運営事業及び荃崎農村高齢者交流センター-管理								
戦略プラン					担当部課 係名	保健福祉部高齢福祉課			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030108-14 荃崎老人福祉センター運営に要する経				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画					
個別計画				<input type="checkbox"/> 実行					
根拠法令	老人福祉法、つくば市老人福祉センター条例、つくば市荃崎農村交流センター条例				事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
高齢者の技術及び知識を生かした生産活動や生涯学習、及び健康増進の場を提供することにより、福祉の増進・向上を図るため。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に荃崎老人福祉センター及び荃崎農村高齢者交流センターの部屋の貸出、管理運営を行う。</li> <li>・施設が安全で快適に利用できるよう維持管理業務を行う。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度設計委託を行った改修・修繕工事を実施。吸収冷温水発生機改修工事 屋根漏水修繕工事 今後、施設計画（長期修繕計画・長寿命化計画等）の策定を検討する。</li> <li>・つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸収冷温水発生機改修工事と屋根漏水修繕工事を実施・完了</li> <li>・屋根漏水修繕工事に併せて、自主点検が困難な屋根部分について、点検を行った。</li> </ul>				
成果					課題				
2基のうち1基が故障していた吸収冷温水発生機については、改修工事を行ったことにより、安定した冷暖房の供給が図れた。 屋根漏水修繕工事により、屋根各所からの漏水がなくなった。					施設の老朽化により建物全体の空調管路、配水管路等の異常が突発的に発生している。また、一般浴場・特別浴槽利用に係る給湯ボイラーの老朽化により、緊急修繕が多発している。				
改善目標（R01年度にむけて）									
施設老朽化に伴う建物及び設備の緊急修繕工事が遡増しているため、特に給湯ボイラー、空調・配水管路、キュービクルの改修又は更新が必要とされる。一般浴槽及び特別浴槽については、実質的な利用状況を勘案のうえ、継続利用か廃止の検討を必要とする。									
指標の推移									
1	指標名	施設利用者数 (人)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	17,763.0	19,396.0	22,434.0	21,066.0	18,978.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	366	392	333	0
	一般財源	(千円)	19,036	32,264	19,180	0
事業費計		(千円)	19,402	32,656	19,513	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.40	2.00		
		時間外勤務 (時間)	33.00	60.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	10,034	14,263		
事業コスト		(千円)	29,436	46,919		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11需用費 8,434千円</li> <li>・12役務費 679千円</li> <li>・13委託料 7,805千円</li> <li>・14使用料及び賃借料 2,182千円</li> <li>・18備品購入費 413千円</li> </ul>
	合計 19,513千円

予算の方向性	理由	施設の老朽化に伴い建物の損傷及び設備・機器の修繕が必要とされている。
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	1,537		
事業コスト		(千円)	0	1,537		

R01年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	介護予防・日常生活支援サービス事業に要する経費を含む
廃止		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		